

用心せよ。わが心の鬼がわが身を責める。

……「天地は語る」第八十条……

解説

このみ教えの「わが心の鬼」とは何でありましようか。それは前述の「世の中で一番汚いのは欲である」とのご理解や「みな我欲なことをするから、困ることになる」とのお言葉から察するに「心の鬼」とは「我欲」のことと思われれます。人は良心・良識に従って生きれば多少の不自由はありますが、皆、公平に利益を享受することができません。

しかし本能や我欲のままに生きれば、社会の秩序は乱れ、混乱し、人々は幸福になれません。ところが人間は、弱いもので油断をすると、何時でも「自分さえよかったら」という「心の鬼」が、頭をもたげてきますので「心の鬼」が出てこないように、私達は、いつも神様を手放すことなく、神様と共に生きる在り方を貫かせて頂きたいものがあります。